

維持管理

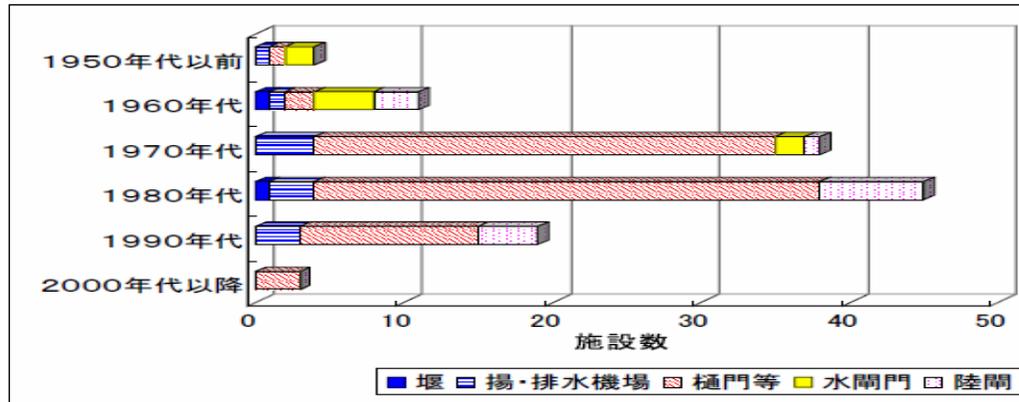
目標：適正な維持管理を行い、洪水・高潮等による災害の防止、河川の適正な利用、流水の正常な機能維持を目指す
地域住民の方々が身近な自然を楽しめ、川との繋がりを実感できる河川環境の維持を目指す

- ライフサイクルコストの縮減を念頭に、地域の特性を踏まえつつ、河川維持管理計画（案）及び維持管理実施計画（案）に基づき、効率的・効果的な維持管理を実施
- 既存施設の有効活用と、長寿命化のための効率的な対策を実施

現状の課題

老朽化した河川管理施設（護岸、堤防及び樋門等）が年々増加

- ・ 高度経済成長期に整備された社会資本が今後、急速に老朽化し、維持管理や更新費用の増大が見込まれる中、計画的な維持管理、更新と社会資本ストックの徹底的な活用が喫緊の課題となっている。



- ・ 堤防・護岸等において、施工された時代、使用材料等により、堤防天端の亀裂、法面崩壊、護岸ひび割れ、堤防内部の空洞化による陥没等が発生している。



堤防天端の亀裂



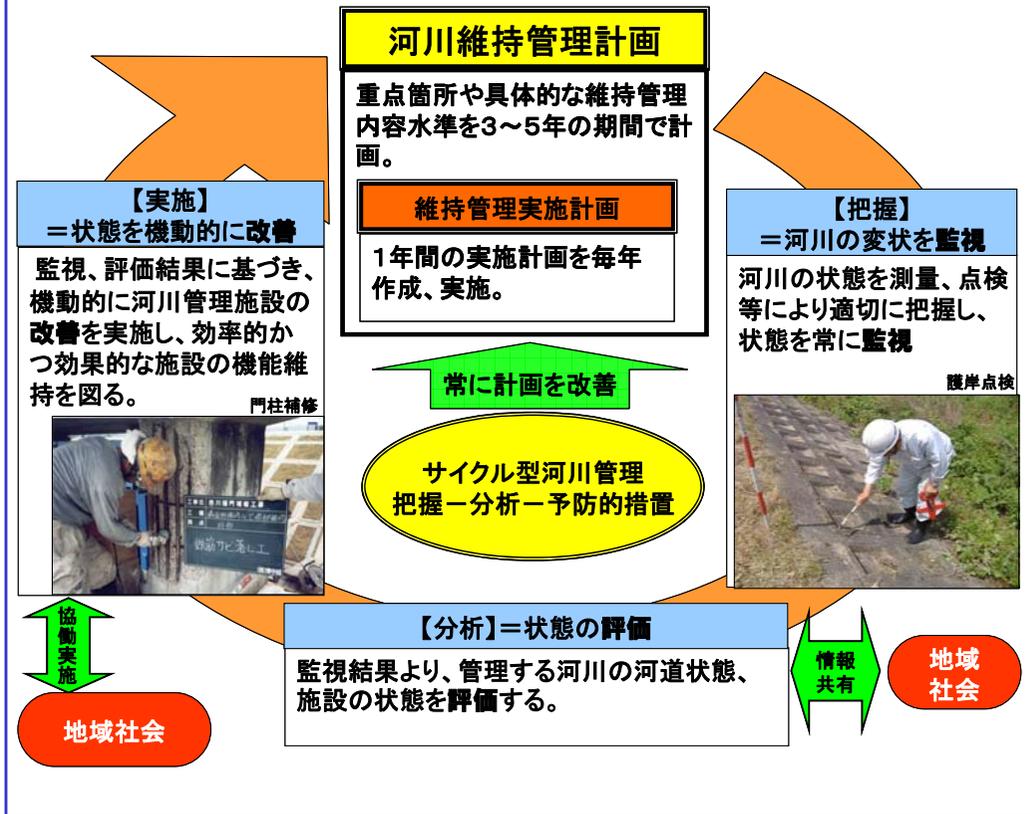
特殊堤の変状



門柱コンクリートの剥離

整備内容

- ・ 河川の特性を十分に踏まえ、ライフサイクルコストの縮減を念頭に、河川管理上の重点箇所や実施内容など、具体的な河川の維持管理計画等を策定
- ・ 調査・巡視・点検による河川の変状の把握・分析から実施に至る一連のサイクルにより効率的・効果的な維持管理を実施



維持管理

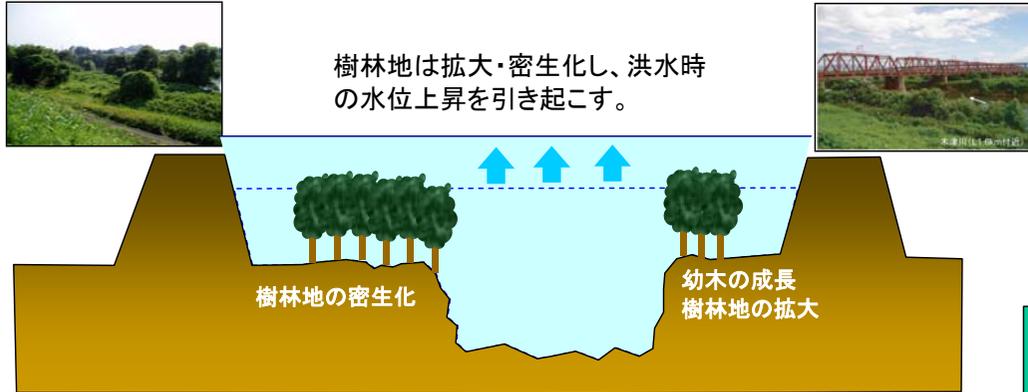
目標：適正な維持管理を行い、洪水・高潮等による災害の防止、河川の適正な利用、流水の正常な機能維持を目指す
地域住民の方々が身近な自然を楽しめ、川との繋がりを実感できる河川環境の維持を目指す

- 河川管理上支障となる河道内樹木の計画的な伐採を実施
- 河川内ごみの処理及び不法投棄の防止対策を実施

現状の課題

河道内樹木の繁茂

・高木樹木の繁茂によって、治水に対する影響が生じているところがある。



不法投棄が増加

・多くの住民・住民団体の協力で清掃活動が年々増し、モラルが高まってはいるものの、一部の河川利用者によるゴミ投棄、家電製品や自動車などの廃棄物の不法投棄増加している



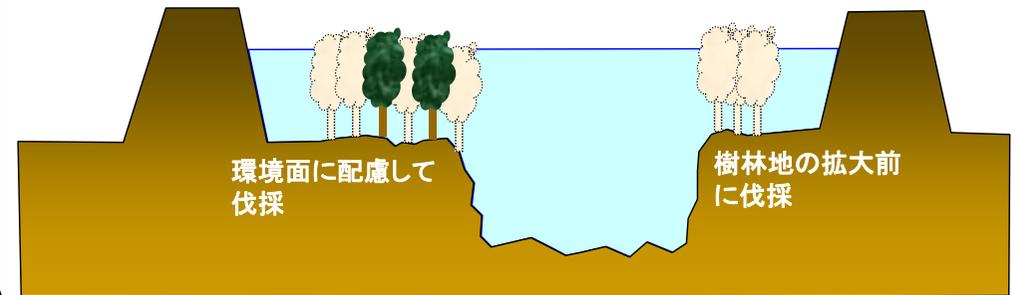
高水敷に不法耕作↓



	大阪府	京都府	合計
	処分量(m3)	処分量(m3)	処分量(m3)
平成13年度	536.0	132.0	668.0
平成14年度	536.0	553.0	1,089.0
平成15年度	704.0	449.0	1,153.0
平成16年度	2,717.0	897.0	3,614.0
平成17年度	2,353.0	390.0	2,743.0
5箇年合計	6,846.0	2,421.0	9,267.0
5箇年平均	1,369.2	484.2	1,853.4

整備内容

・河川管理上支障となる河道内樹木については、生物の生息・生育環境に配慮した上で、計画的に伐採を実施する。



・「川は地域共通の公共財産である」という共通認識のもと、啓発活動を実施していくとともに、河川美化と環境保全のための維持管理に努める。



「不法投棄マップ」をHPで掲載